



ブラザー編機

ニット・リーダー / 取扱説明書

KL-117



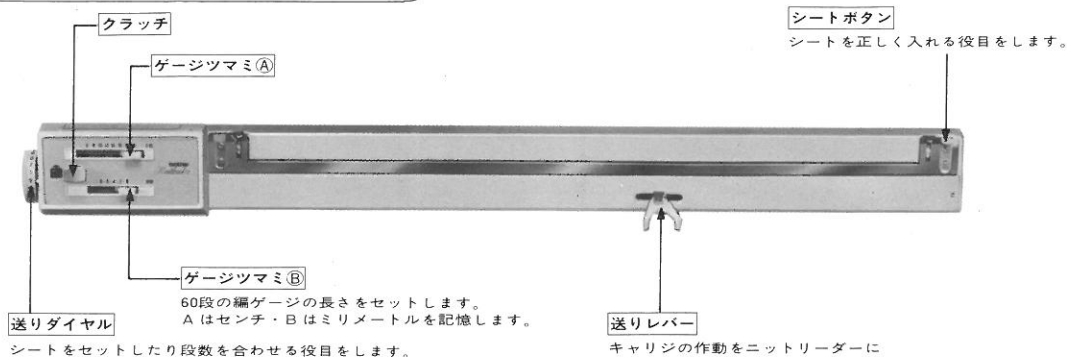
☆ お買上げありがとうございます。

ブラザーニットリーダーのすばらしい機能とその正しい使い方を理解していただくために、まずこの取扱説明書をお読み下さいますようお願い申し上げます。

## 目 次

各部のなまえとはたらき.....	1
ニットリーダーの取り付け方.....	2
取り外し方.....	5
作品を作るために.....	7
編ゲージとは.....	7
編ゲージの作り方.....	7
編ゲージの計り方.....	10
編ゲージのセット方法.....	11
製図の写し方.....	12
編目スケール目盛の読み方.....	14
知っておきたいことがら.....	15
編目スケールの段数への応用.....	16

# 各部のなまえとはたらき



60段の編ゲージの長さをセットします。  
A はセンチ・B はミリメートルを記憶します。

シートをセットしたり段数を合わせる役目をします。

キャリジの作動をニットリーダーにつたえる役目をします。  
(右側の穴はデリカ(KH-120型)と組合わせたときに使います。)



**リーダーケース**



**シート** 製図を書く用紙です。



**編目スケール** シートの製図から目数を読むのに使います。



**シートケース** 編目スケール、シートを入れるケースです。



**シートガイド**

シートを支える役目をします。



**ブラザーペン**

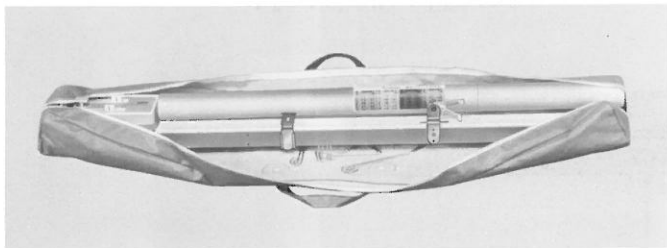


**取付金**

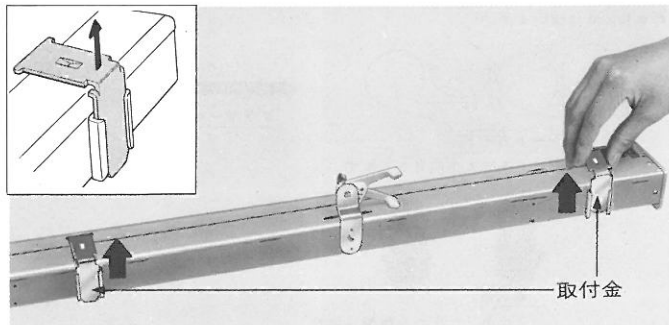
ニットリーダーを編機に取り付けるときに使います。

(デリカ(KH-120型)・ナイン(KH-210・220・230型)にこのニットリーダーを組合わせるときは、それぞれの本機に付属している取付金をお使い下さい。)

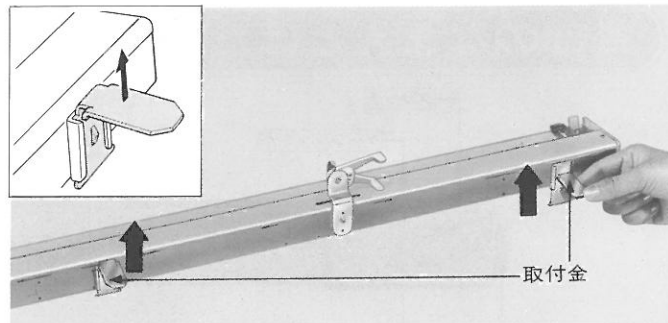
## ニットリーダーの取り付け方



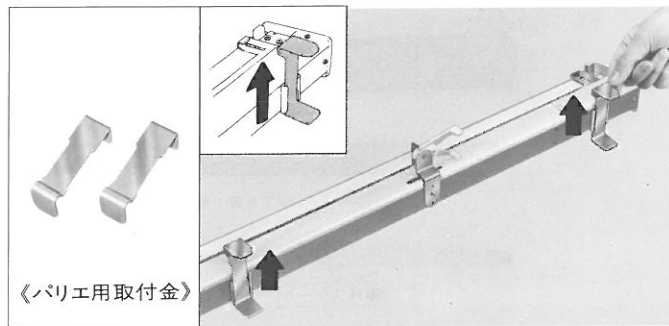
(1) ニットリーダーをリーダーケースから取り出します。



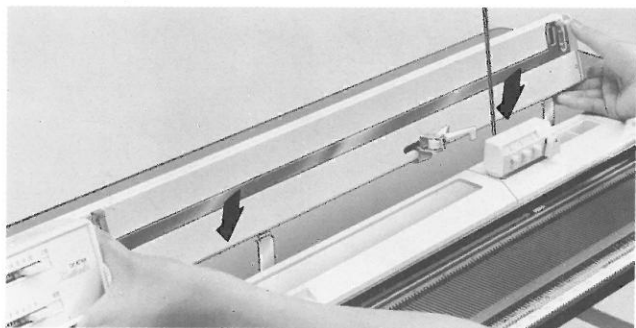
(2) 2個の取付金を矢印方向に引っばってニットリーダーからはずします。



(3) 取付金をニットリーダーの取付部に差し込みます。



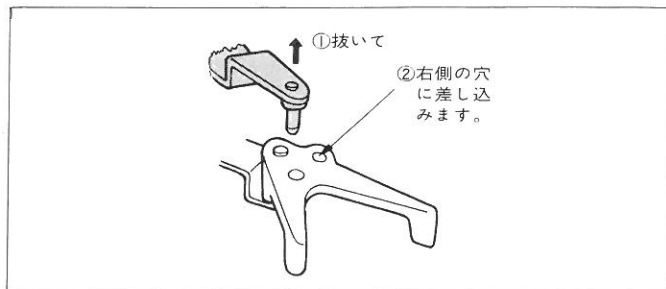
※ ナイン(1頁参照)と組合わせたときは、ナインに付属のバリエ用取付金をニットリーダーの取付部に矢印方向へ差し込みます。



- (4) ニットリーダーを本機の後側のリーダー取付部に差し込みます。

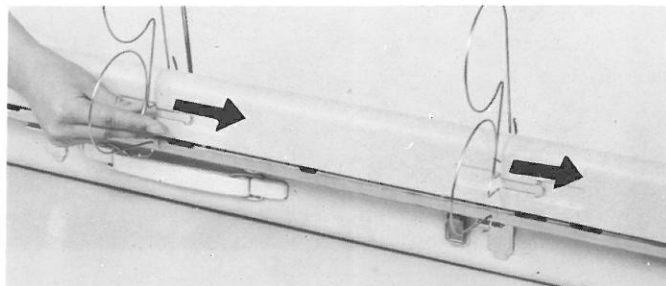


- (5) 送りレバー左側の穴に連結レバーピンを差し込みます。

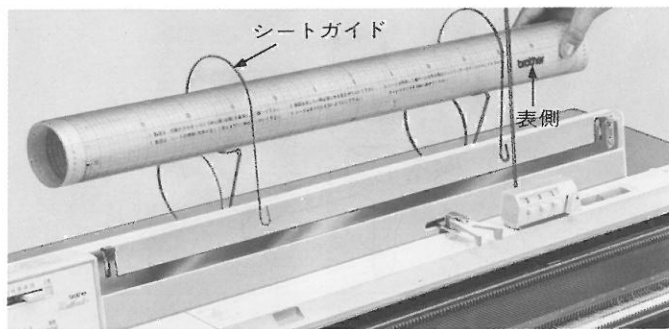


- ※ デリカ(KH-120型)にこのニットリーダーを使い60段の編ゲージの長さが6.0センチ未満の場合は、送りレバー右側の穴に連結レバーピンを差し込み、送りレバーが傾いた状態で使用します。

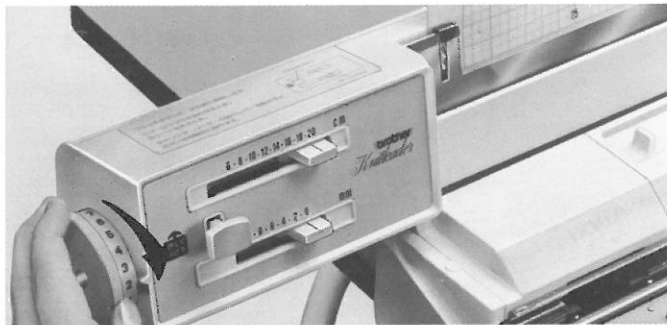
(キャリジを2回操作すると、シートが1段送られます。)



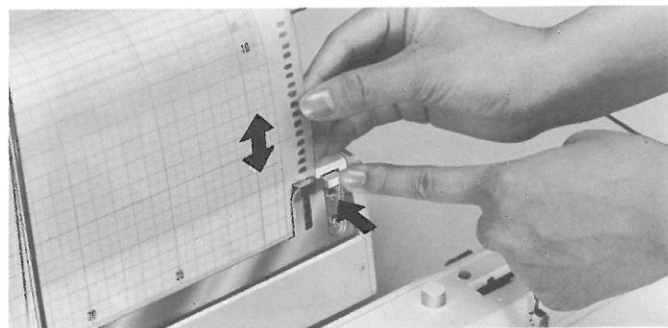
- (6) シートガイドを矢印方向へ押してニットリーダーに取り付けます。



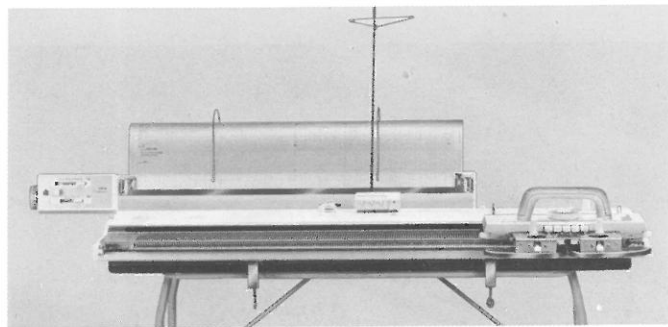
- (7) シートの表が外側になるようにシートの上（文字が書いてない方）から巻き、シートガイドに入れます。



- (8) シートの左下側を左側のシート差し込み口に入れ、シートの左側の穴を送り歯に合わせて送りダイヤルを2～3段回します。

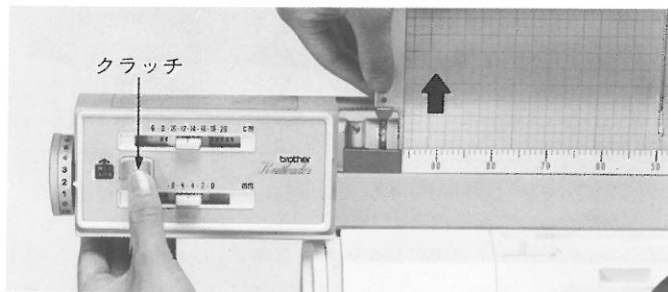


- (9) 右側にあるシートボタンを押したまま、シートを上下に動かして傾きを直します。

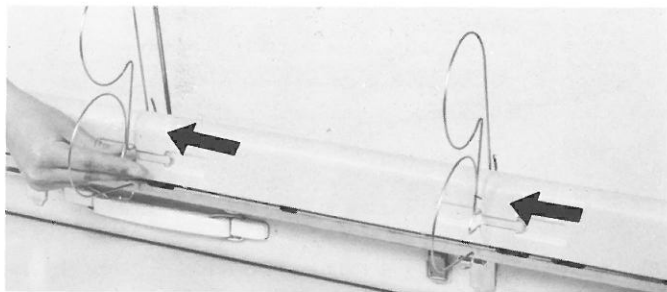


- (10) ニットリーダーを本機に取り付けた状態を示します。

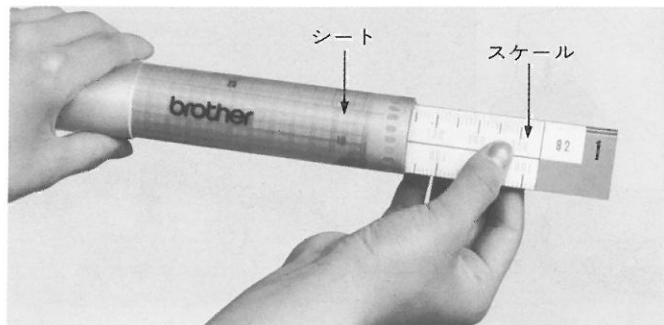
## ニットリーダーの取り外し方



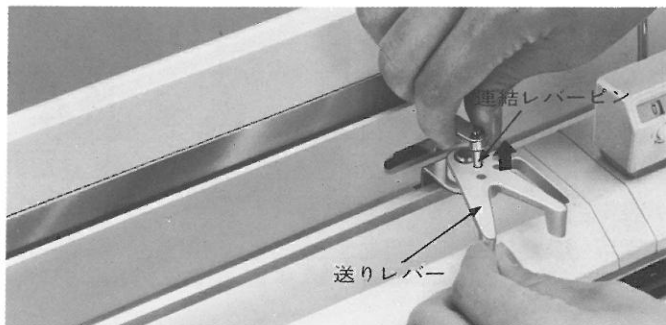
- (1) クラッチをいっぱい押し上げてから、シートを両手で引き上げてはずします。



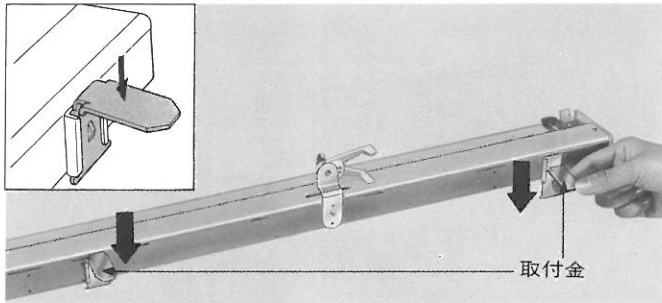
- (2) シートガイドを矢印方向へはずします。



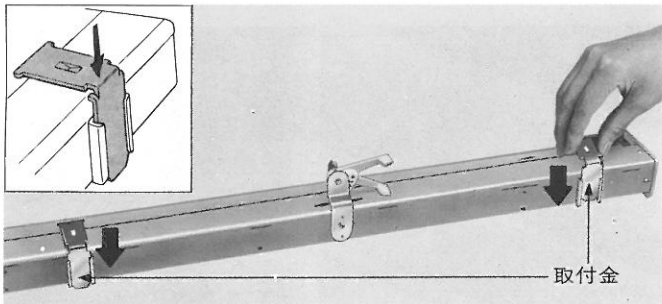
- (3) シートケースにシートを入れ、次に編目スケール、プラーペンを入れます。



- (4) 連結レバーピンを送りレバーの穴からはずして、ニットリーダーを本機からはずします。

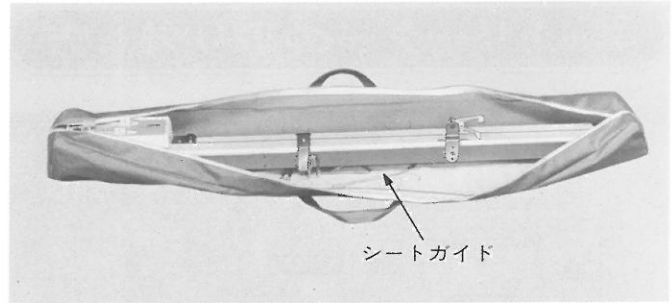


- (5) 2つの取付金を矢印の方向に押し込み、ニットリーダーからはずします。

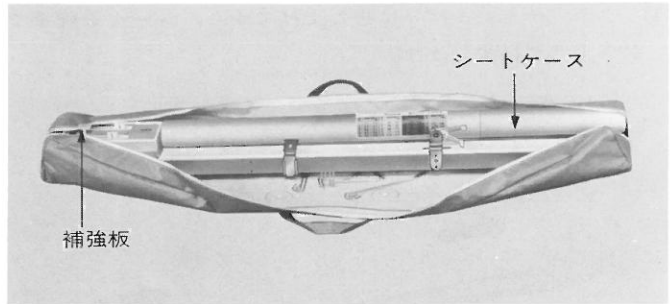


- (6) 取付金を逆向きにして差し込みます。

※ ナイン(1頁参照)・デリカ(KH-120型)に付属となっている取付金を使われた場合は、その本機の部品箱に格納して下さい。



- (7) シートガイドの取付部を上にして、リーダーケースの中央に置き、その上にニットリーダーを上向きにして置きます。



- (8) 補強板を送りダイヤルにはめ、ニットリーダーの上にシートケースをのせファスナーをとじます。

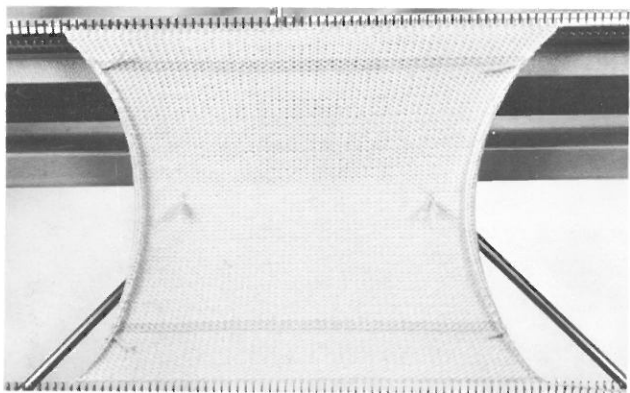


## 作品を作るために……

〈パリエシシリーズ・デリカ(KH-120型)の場合〉

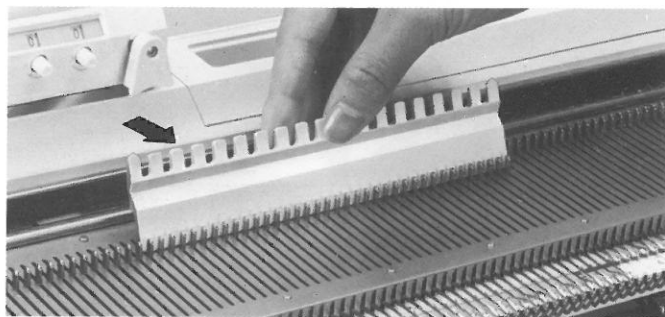
☆このニットリーダーをナイン(1頁参照)に取り付けて編まれる場合は、ナイン取扱説明書の「ニットリーダーをご利用の場合」をよくお読み下さい。

※ 写真用モデルはKH-880型を使用しています。

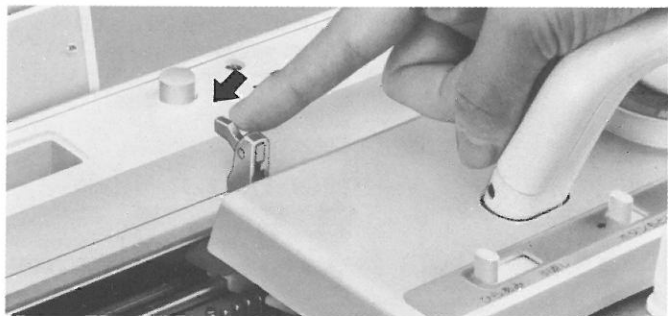


☆作品を希望の大きさに編み上げるためには、作品を編む編糸で試し編地を編んで、編目の大きさを知る必要があります。ニットリーダーでは目数40目、段数60段の長さを測りその長さを編ゲージとします。

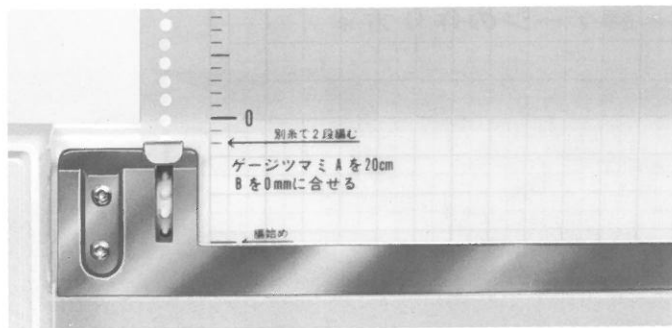
## \* 編ゲージの作り方 \*



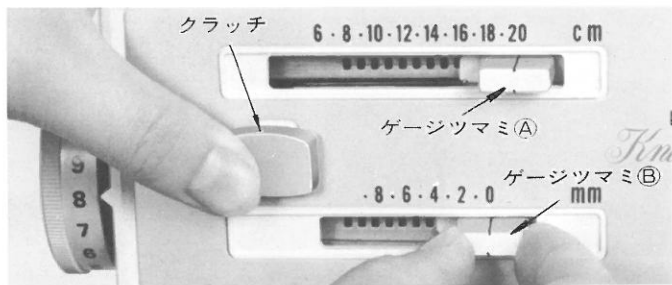
(1) ミゾ板の真中0を中心にして、左右30本の編針を出します。



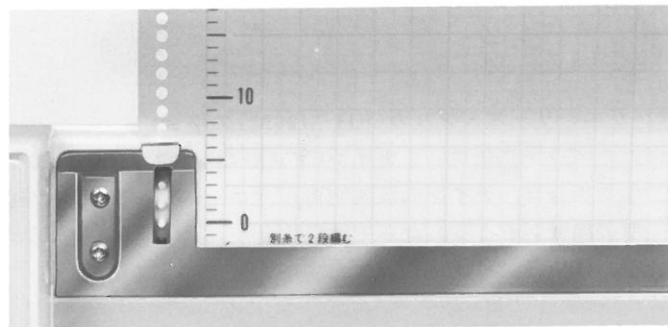
(2) 編出しを使って4～6段編み、キャリジの作動レバーを下げます。



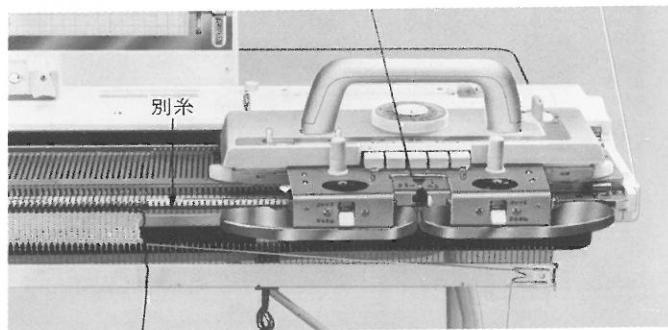
- (3) シートをニットリーダーに差し込み、送りダイヤルを回してシート左側の〔編始め〕線を写真のようにフレーム線に合わせます。



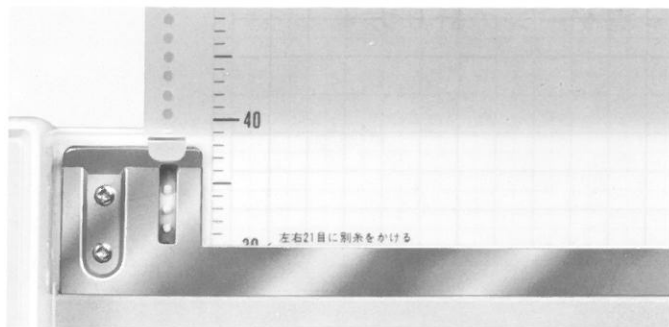
- (4) クラッチをいっぱい押し、ゲージツマミ(A)を20、(B)を0に合わせます。



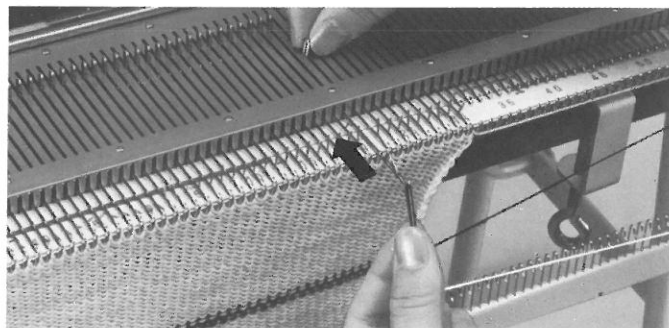
- (5) 編目ダイヤルを各種毛糸、又は編方に合わせ、シート左側の〔別糸で2段編む〕線とフレーム線が合う所まで編みます。



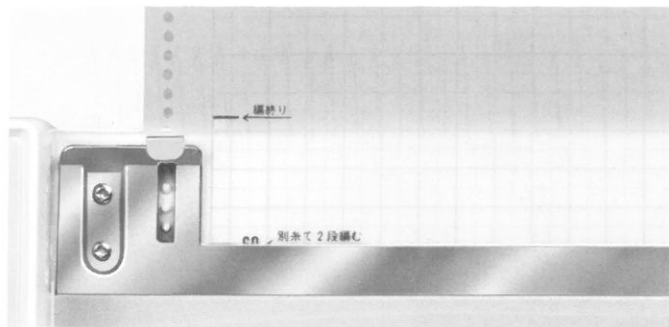
- (6) 地糸口の地糸をはずし、ミゾ板の端にかけて休めます。そして別糸(区別をつけるための色の違った編糸)を地糸口に通してから2段編みます。



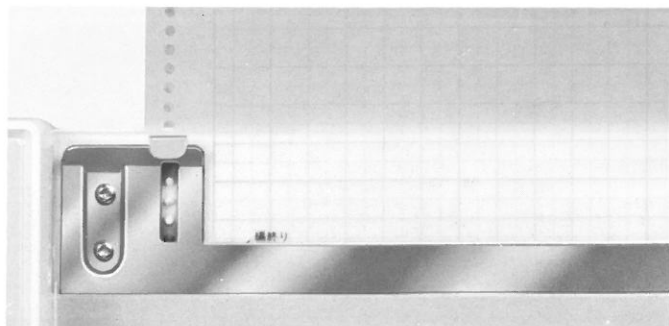
- (7) 地糸口の別糸を地糸にかえ、シート左側の〔左右21目に別糸をかける〕まで編みます。



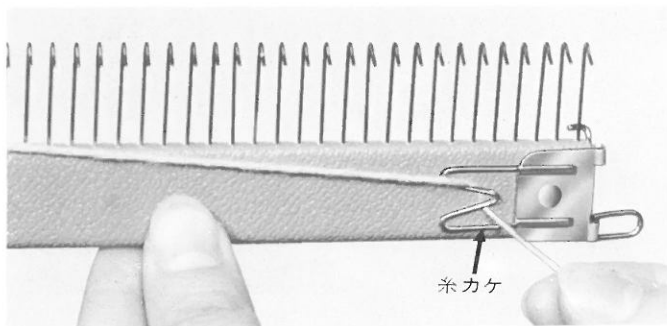
- (8) 左右21本目の編針を各1本ずつE位置に出し、短かく切った別糸を編針のフックにかけてB位置に戻します。



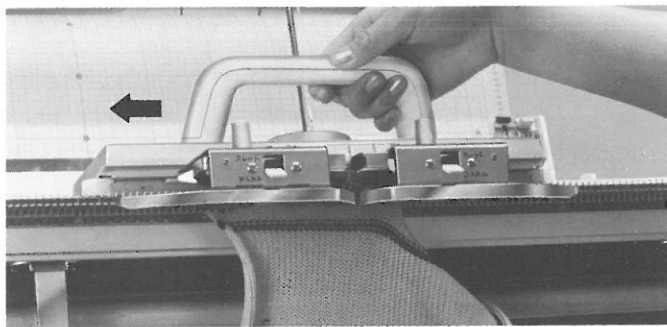
- (9) シート左側〔別糸で2段編む〕まで編み、地糸口から地糸をはずしてミゾ板の端に休め、別糸で2段編みます。



- (10) 地糸口の別糸を地糸にかえ シート左側の〔編終り〕線まで編みます。

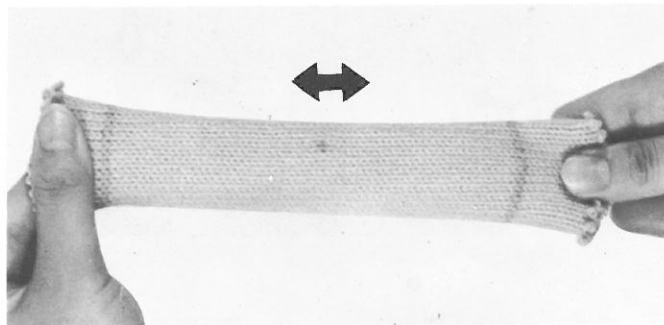


(11) 糸端を編出シの糸かけからはずして、編出シを編地からはずします。



(12) 地糸口から地糸をはずして、キャリジを1回動かしますと編地がはずれます。

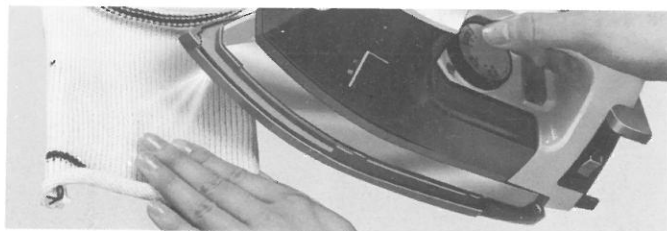
### \* 編ゲージの計り方 \*



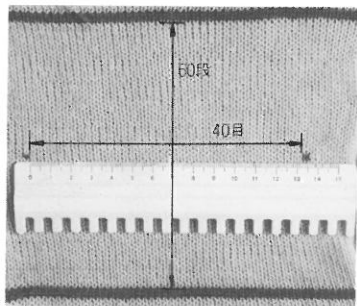
(1) 編機からはずしたままの編地は横に伸びていますので、編地を2～3回軽く引張ります。



(2) 軽く手でたたくようにして編目をもどします。



(3) スチームアイロンで蒸気を2～3分当てます。

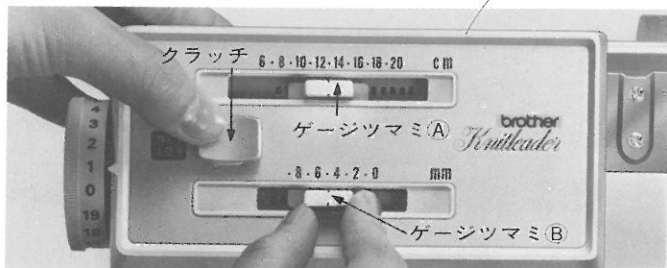


(4) 編地が落ち着きましたら、編地の表を上にして机の上に置き、段数（タテ方向の別糸の内側60段）の長さが何センチ何ミリあるかを編地の中央付近で測ります。

また、目数（左右21目の糸じるしの内側から内側まで）が何センチ何ミリあるかを測ります。

〔注意〕綿、麻、合繊などの糸は水を通して、自然乾燥させてから測って下さい。

## \* 編ゲージのセット方法 \*



(1) 1. 編ゲージを測ったとき例えば段数60段の長さが13センチ5ミリあったとします。

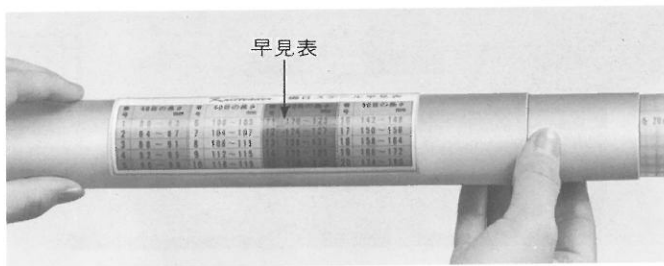
2. クラッチをいっぱい押し上げて、ゲージつまミ(A)を目盛13に合わせ、ゲージつまミ(B)を目盛5に合わせてクラッチをはなします。

※ デリカ(KH-120型)にこのニットリーダーを使い連結レバーピンを送りレバー左側の穴に差し込んで編んだとき、60段の編ゲージの長さが6.0センチ未満の場合は、次のようにします。例えば、60段の編ゲージの長さが4.6センチになったような場合は、ゲージつまミ(A)・(B)にセットできませんから下記のようにニットリーダーにセットして編みます。60段の長さのゲージを2倍にして、その値をゲージつまミ(A)・(B)にセットします。

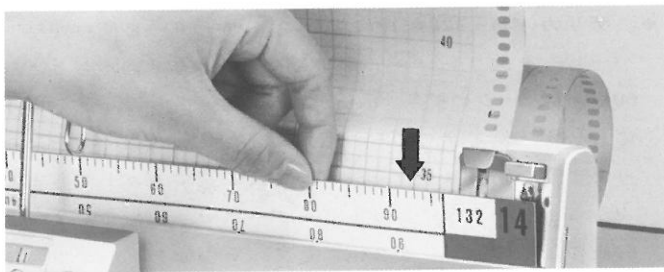
$$4.6 \text{ センチ} \times 2 = 9.2 \text{ センチ}$$

ゲージつまミ(A)を9、(B)を2にセットします。

(この方法は3ページ(5)項の送りレバー右側の穴に連結レバーピンを差し込んだ方法と同じことです。)

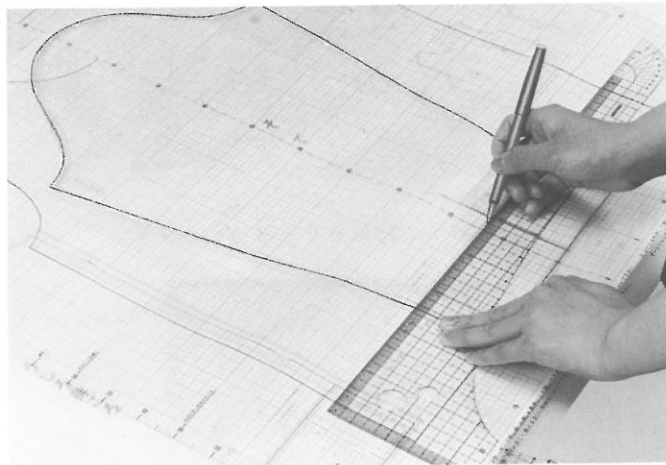


- (2) 目数40目の長さが13センチ2ミリであったとします。シートケースに貼ってある編目スケール早見表から132の編目スケールは「14緑色」であることを知り、シートケースから「14」の編目スケールを抜き取ります。



- (3) 「14」の編目スケールを132の数字が右上になるようにして、編目スケール差し込み口に、下いっぱいまで差し込みます。

## \* 製図の写し方 \*

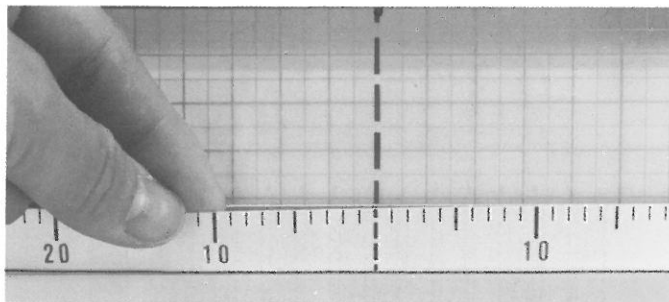


1. ニットリーダーのクラッチをいっぱいにしてから、シートを両手でまき上げてはずし、別売りのブラザーホームニットングパターンを机におき、その上に表側を上にしたシートをのせます。そしてシートの中心線をパターンの中心線に合わせて、付属のブラザーペンで正しく写します。

※ シートは数字が正しく見える方が表です。

※ [編み始め線]をシートの目盛5センチの線に合わせて下さい。

※ 間違ったときや、書き直したいときには布に水を含ませて上から軽くふきますと消えます。



2. シートをニットリーダーにセットしてシートの中心線に編目スケールの中心線を合せます。

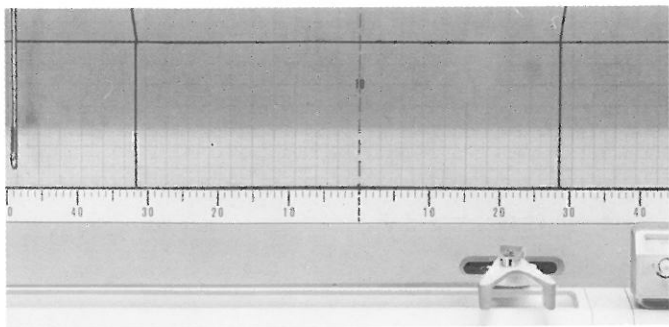
ブラザーホームニットイングパターンを各種取りそろえて別売りしていますので、ぜひご利用下さい。最寄のブラザー販売店または指定教室でお買い求め下さい。

#### ご 注 意

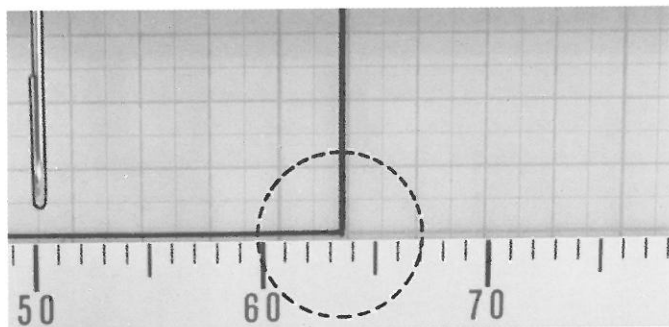
- (1) シートと編目スケールは、折り曲げないようにして下さい。
- (2) ペンは、ブラザーペン以外のサインペンは使わないで下さい。
- (3) 編み幅がせまいときでも、キャリジは送りレバーを通過するまで動かして下さい。
- (4) ゲージつまみ①・②は、必ずクラッチを押して上げてから操作して下さい。

- (5) シートが送り歯に食い込んだ場合は、送りダイヤルを逆方向へ回してシートをはずして下さい。
- (6) シートに無理な力が、かかりますとスリップして送りませんので無理な所がないか調べて下さい。
- (7) シートのよごれは、中性洗剤を布にしみこませてふきとって下さい。  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないように注意して下さい。

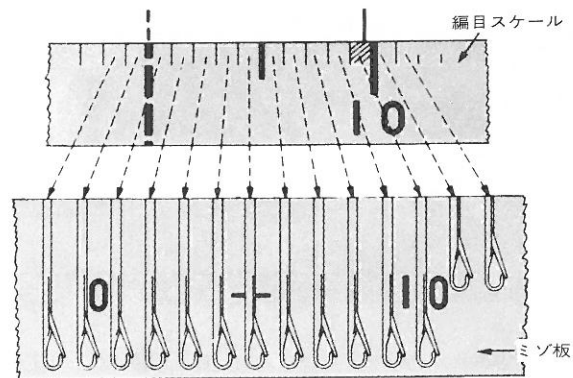
\* 編目スケール目盛の読み方 \*



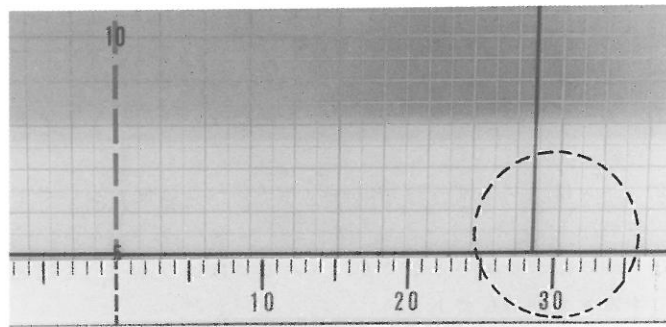
1. 送りダイヤルを手前側に回し、シート製図の〔編始め線〕を編目スケール上端に合せます。



2. 上の場合は64と読み、左右64本の編針を出します。

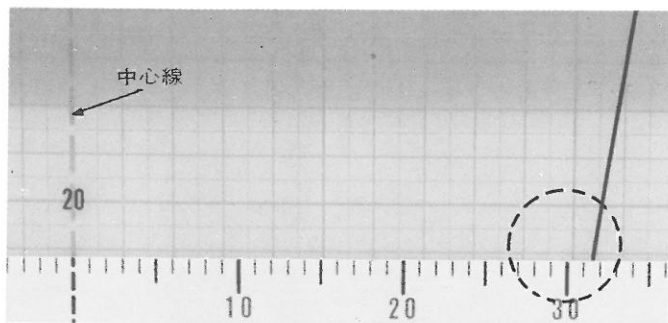


- ☆ 編目スケールの目盛は、ミゾ板の編針に対応します。  
 ☆ 編目スケールの目盛の数字は、ミゾ板の編針番号（編目）を表わします。  
 ☆ この場合の斜線の部分が10の編針の領域を表わします。



- ☆ この場合は29と読み、29番目までの編針を出して編みます。





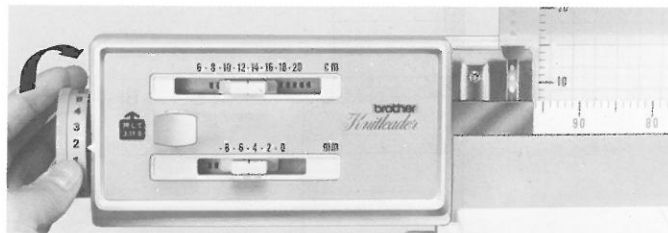
☆この場合は32と読み、32番目までの編針を出して編みます。

※ シートの製図線が編目スケール目盛の領域(斜線部分)よりプラス側に越えたら、増し目、マイナス側に越えたら減らし目をします。

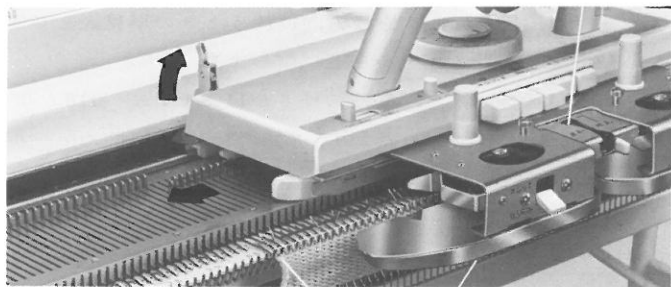
※ 製図線が斜線内にある間は編目を増やしたり減らしたりせず、そのまま編み続けます。

## 知っておきたいことから...

編みまちがえたときのニットリーダーの取り扱いと正しい直し方

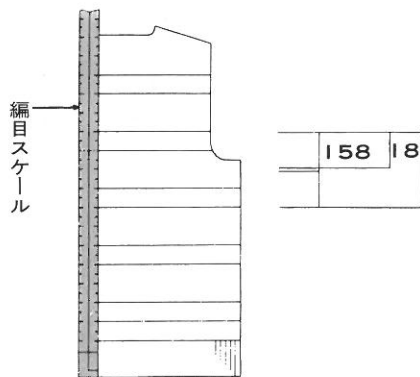


(1) 編みまちがえた段数だけ編地をほどきます。そしてほどいた段数だけ送りダイヤルを向こう側に回し、シートを戻します。



※ 糸端がキャリジと反対側になる場合は、必ずキャリジの作動レバーを上げてから、空送りして下さい。

## 編目スケールの段数への応用



次ページの編目スケールを段方向に使うときの早見表を参照し、使用する編目スケールを選びだします。

例えば段縞模様するとき、60段の長さが11.8センチ（118ミリ）としますと、次ページの表より（赤18の158）の編目スケールを取り出し、段方向にあてて段縞の目盛をシートの製図にかいて下さい。線に従って糸を交換しますときれいな段縞ができます。

# 編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表

ゲージツマミを 合わせた位置		使用する編目スケール			ゲージツマミを 合わせた位置		使用する編目スケール			ゲージツマミを 合わせた位置		使用する編目スケール			ゲージツマミを 合わせた位置		使用する編目スケール				
数字	番号	色		数字	番号	色	数字	番号	色	数字	番号	色	数字	番号	色	数字	番号	色			
60 *	80			90 *	120		120			120			80			168			112		
61 *	81	1		91 *	121	11				121 122			81	1		169 170			113		
62 *	83			92 *	123					123			82			171			114	9	
63 *	84			93 *	124					124 125			83			172 173			115		
64 *	85	2		94 *	125	12				126			84			174			116		
65 *	87			95 *	127					127 128			85			175 176			117		
66 *	88			96 *	128					129			86	2		177			118	10	
67 *	89	3	青	97 *	129					130 131			87			178 179			119		
68 *	91			98 *	131					132			88								
69 *	92			99 *	132					133 134			89			180			120		
70 *	93	4		100 *	133					135			90	3	青	181 182			121		
71 *	95			101 *	135	14				136 137			91			183			122		
72 *	96			102 *	136					138			92			184 185			123		
73 *	97	5		103 *	137					139 140			93								
74 *	99			104 *	138					141			94	4		186			124		
75 *	100			105 *	140					142 143			95			187 188			125		
76 *	101	6		106 *	142					144			96			189			126		
77 *	103			107 *	142					145 146			97			190 191			127		
78 *	104			108 *	144					147			98	5							
79 *	105	7		109 *	146					148 149			99			192			128		
80 *	107			110 *	146	16				150			100			193 194			129		
81 *	108			111 *	148					151 152			101			195			130		
82 *	109	8	橙	112 *	150					153			102	6		196 197			131		
83 *	111			113 *	150					154 155			103								
84 *	112			114 *	152					156			104			198			132		
85 *	113	9		115 *	154					157 158			105			199 200			133		
86 *	115			116 *	154					159			106			201			134		
87 *	116			117 *	156	17				160 161			107	7	橙	202 203			135		
88 *	117			118 *	158					162			108								
89 *	119	10		119 *	158	18				163 164			109			204			136		
										165			110	8		205 206			137		
										166 167			111			207			138		
																208			138		
																209			140		

\*印の場合は編目スケールの1目盛を2段と読みます。

## 1. 編目スケールの選び方

60段の編ゲージの長さから、上の表を見て編目スケールを選びます。



## 2. 編目スケールで段数を知る方法

製図の編み方向に編目スケールをタテにして、総段数・部分段数を知ることができます。

## ＝ お客様相談コーナー ＝

札幌支店	〒060	札幌市中央区南三条西3-2-2	電話(011)	261-6631
仙台支店	〒980	仙台市一番町2-3-10	電話(0222)	27-8877
北関東支店	〒330	大宮市仲町1丁目124-2	電話(0486)	42-1271
東京支社	〒104	東京都中央区京橋3-3-8	電話(03)	273-0231
横浜支店	〒220	横浜市西区楠町9-6	電話(045)	312-8631
新潟支店	〒950	新潟市東大通1-1-1	電話(0252)	47-7101
静岡支店	〒420	静岡市御幸町9-1	電話(0542)	54-2601
名古屋支店	〒460	名古屋市中区栄3-27-18	電話(052)	261-3271
京都支店	〒600	京都市下京区四条通り御幸町角	電話(075)	255-2481
大阪支店	〒542	大阪市南区心斎橋筋1-1	電話(06)	252-1797
広島支店	〒730	広島市中区胡町4-27	電話(082)	241-9236
高松支店	〒760	高松市寿町1-1-5	電話(0878)	51-7341
福岡支店	〒812	福岡市博多区博多駅前2-20-1	電話(092)	481-2671
熊本支店	〒860	熊本市城東町2-20	電話(096)	355-7151
沖縄出張所	〒900	那覇市泊3-1-2	電話(0988)	68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店  
または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

### ブラザー工業株式会社

取扱店

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通 9-35  
電話 (052) 824-2511(代)